

# まちづくり協議会 みやじ

令和5年5月号 発行者 山口 義鐘 第85号 ㊟31-5557

### ▼ともだち百人できるかな！

4月10日宮地小学校、第八中学校で入学式が行われ、新学期がスタートしました。

ピカピカの新一年生の黄色い帽子に大きなランドセルが、ひときわ輝いて見えます。宮地つ子を守る会では毎朝校区内七ヶ所で子どもの交通パトロールを行っています。

「今日も元気でいってらっしゃい！」と声をかけて送り出しました。



登校風景

### ▼新入園児・新入学児の

交通事故を防ごう！

・入園・入学時は交通事故が増加します。登下校の時間は特に歩行者に注意しましょう！

・子どもが登下校する時間帯は、速度を落とし、歩行者に注意する。

・子どもを車に乗せるときは、チャイルドシートやジュニアシートを必ず使用する。

・子どもが自転車を運転するときや、自転車で同情させるときは、必ずヘルメットを着用させる。

### ▼「球磨川はね」とは なに？

3月27日古麓町住民の人達と一緒に「球磨川のはね」の見学に参加しました。「はね」は、河川の氾濫を防ぐ目的で作られた治水施設で、現在の河川工学では、水制(すいせい)とよばれるものです。水制(すいせい)は主に大きな河川の湾曲部等において水の流れる方向を制御し、流水が河川や堤防に当たるのを防止する役目があります。同時に、急流河川では、流水の速度を緩和し、河川や堤防が浸食されないように保護するために設置されました。

1619年に、麦島城主・加藤清正の命令により、麦島城代・加藤正方が萩原堤防を築いたと記されています。

又、1662、1664年にかけて、人吉相良藩の林正盛が球磨川の開削を行ったと記されていることから、球磨川はねは、1600年代後半頃に築かれた可能性があります。球磨川はねは、下流から「磯ばね」「天神はね」「大はね」「山下はね」「寺はね」「亀はね」の7箇所が存在していました。2ヶ所が河川改修や災害により失われたと考えられています。この5箇所のはねも後世に修復・積み直しが行われています。



「山下はね」はねの歴史を十分に学習した一日でした。

### ▼神神(かみさかき)あります！

・東町産の神神(かみさかき)をコミセンで販売しています。一束百円です。

・毎月、月末に入荷します。

(15日は入荷しません)

▼東町産(炭) 販売中！

・2kg 七百元

・5kg 千七百五十円

▼廃油石けん 百円 販売中！



### ▼まちづくり協議会みやじ通常総会について

・日時 令和5年5月19日(金)

・午前10時から

・場所 宮地コミセン

2階大会議室

### ▼あとがき

みやじの山々に深緑が映える頃になりました。まち協だより5月号をお届けします。

新年度が始まり1ヶ月が過ぎ、五月には入り各団体の定期総会も3年ぶりの開催で、久しぶりに活気が戻って来たようです。

4月末に、宮地町の白寿会の定期総会に出席しました。毎月の例会を必ず実地し、広報紙も発行して会員に周知しています。健康保持の為にグラウンドゴルフ愛好会も出来ていて、活発な地域老人会活動としたいと思います。これからも益々元気で頑張ってください。

